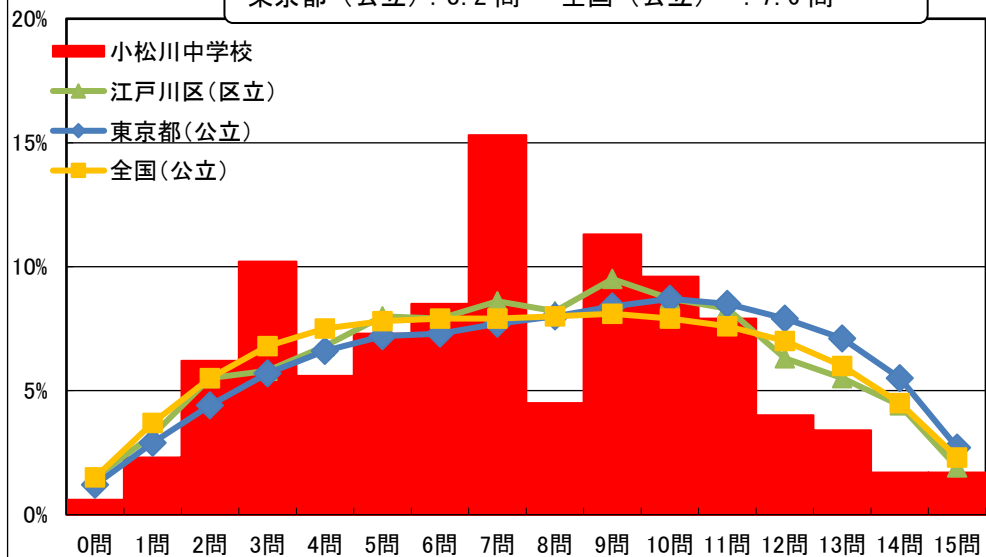


# 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】小松川中学校

## 正答数分布

平均正答数

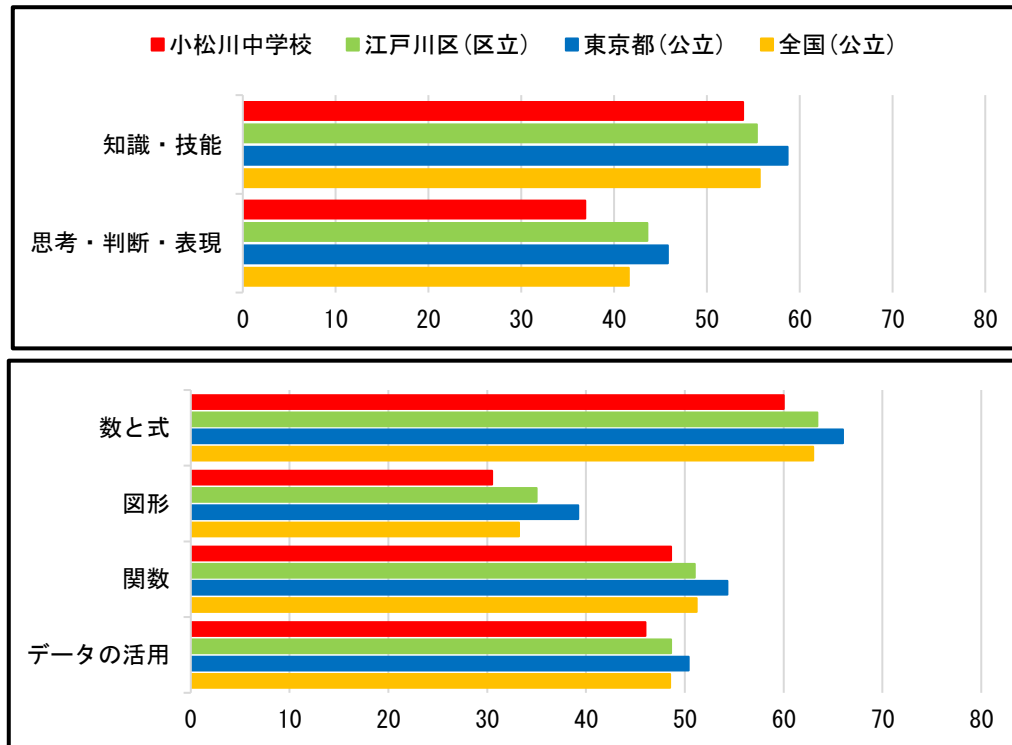
小松川中学校 : 7.2 問  
 江戸川区 (区立) : 7.7 問  
 東京都 (公立) : 8.2 問  
 全国 (公立) : 7.6 問



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

数 学	上 位 ← 下 位			
	A層 11~15 問	B層 8~10 問	C層 5~7 問	D層 0~4 問
小松川中学校	18.7%	25.4%	35.6%	24.9%
江戸川区 (区立)	26.4%	26.4%	24.5%	22.7%
東京都 (公立)	31.7%	25.1%	22.2%	21.0%
全国 (公立)	27.4%	24.0%	23.6%	25.0%

## 「領域別」の結果



### 【平均正答率の差】

小松川中学校	48%
江戸川区 (区立)	51%
東京都 (公立)	54%
全国 (公立)	51.0%
都との差	-6ポイント

### 【分析結果と授業改善に向けて】

A層が少なく、C層がA層の2倍弱の割合であった。平均正答数も全国と比較しても低く、領域としては思考・判断・表現の開きが大きい。基礎学力を上げるとともに、数学的は思考力・判断弾力・表現力を高める課題にも取り組む時間を、それぞれの単元で取り入れていけるように工夫をする。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都 (公立) のデータを基に定めている。